鉄で未来を 未来の鉄を

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年8月

大和工業株式会社
東証プライム（証券コード：5444）

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

略語、会計年度、換算レート

● **略語の説明**

	タイ	**SYS**	Siam Yamato Steel Co., Ltd.
	アメリカ	**NYS**	Nucor-Yamato Steel Company
	アメリカ	**ASA**	Arkansas Steel Associates, LLC
	ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**SULB**	Sulb Company BSC(c)
	ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ	**Saudi Sulb**	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC
	ベトナム	**PY VINA**	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY
	韓国	**YKS**	YK Steel Corporation
	アメリカ	**YKA**	Yamato Kogyo America, Inc.
	アメリカ	**YHC**	Yamato Holding Corporation
	アメリカ	**YK(USA)**	Yamato Kogyo (U.S.A.) Corporation
	ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**Bahrain Venture**	United Steel Company(”Sulb”)　Bahrain Venture Co.W.L.L.
	韓国	**YKH**	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.

● **会計年度**

	会計年度（FY）	2023年度（FY2023）	1Q	2Q	3Q	4Q
当社・国内子会社・関連会社	4月～翌3月	2023年4月 ～2024年3月 （2024/3期）	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月
海外子会社・関連会社	1月～12月	2023年1月 ～12月 （2023/12期）	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月

● **換算レート**

		Yen/Dollar	Yen/Baht	Won/Yen
損益計算書	1-3月平均	133.45（117.81）	3.93（3.56）	9.56（10.23）
	通期予想	135.77	3.90	9.64
貸借対照表	2023年3月末 2023年6月末	133.54（122.41） 144.99	3.91（3.68）	9.76　（9.89）
	2023年12月末予想 2024年3月末予想	135.00 128.00	3.84	9.73

（注）カッコ内は前年同期若しくは前期末

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

決算ハイライト

Ⅰ 2024/3期 1Q決算の概要

Ⅱ 2024/3期 決算の見通し、株主還元

Ⅲ インドネシア案件概要(2023年8月8日開示)

大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

決算ハイライト – 2024年3月期 第1四半期

事業動向KPI

グループ
総販売数量*
152万トン
(前年同期比▲0.02%)

H形鋼
販売比率**
66.1%
(前年同期比▲3.2pp)

自己資本
比率
85.4%
(前期末比▲0.2pp)

財務動向KPI

営業利益率
9.7%
(前年同期比+0.7pp)

持分法損益
160.8億円
(前年同期比+6.1%)

経常利益率
59.7%
(前年同期比+10.4pp)

ROE***
16.5%
(前年同期比▲3.6pp)

*グループ会社の販売数量の単純合計。半製品、DRI及びグループ間取引を含む
**半製品、DRIを除く製品に占めるH形鋼の販売比率
***年換算して算出

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ 2024/3期 第1四半期決算の概要

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期　第1四半期 決算の概要

- **世界景気の先行き不安が続き、鋼材需要は全体的に盛り上がりに欠けるものの、各拠点において主原料である鉄スクラップ価格が弱含みで推移するなか高水準の鋼材マージンを維持**
- **鉄鋼日本は鋼材マージン改善により増収増益も、鉄鋼タイは販売数量減により減収減益**
- **経常利益は前期比10%増の254億円。持分法利益は米国事業が牽引。円安、金利上昇も寄与**

（億円）	前1Q実績	**当1Q実績**	前期比	
			増減額	増減率
売上高	469	**425**	▲44	▲9.5%
鉄鋼事業（日本）	183	**189**	5	3.2%
鉄鋼事業（タイ国）	265	**210**	▲55	▲20.8%
軌道用品事業	13	**15**	1	14.3%
営業利益	42	**41**	▲1	▲2.5%
鉄鋼事業（日本）	9	**29**	20	208.7%
鉄鋼事業（タイ国）	38	**16**	▲22	▲56.8%
軌道用品事業	0	**1**	1	1315.4%
経常利益	231	**254**	22	9.6%
持分法投資損益	151	**160**	9	6.1%
親会社株主帰属当期純利益	180	**183**	2	1.5%
営業利益率	9.0%	**9.7%**	0.7pp	−
経常利益率	49.3%	**59.7%**	10.4pp	−

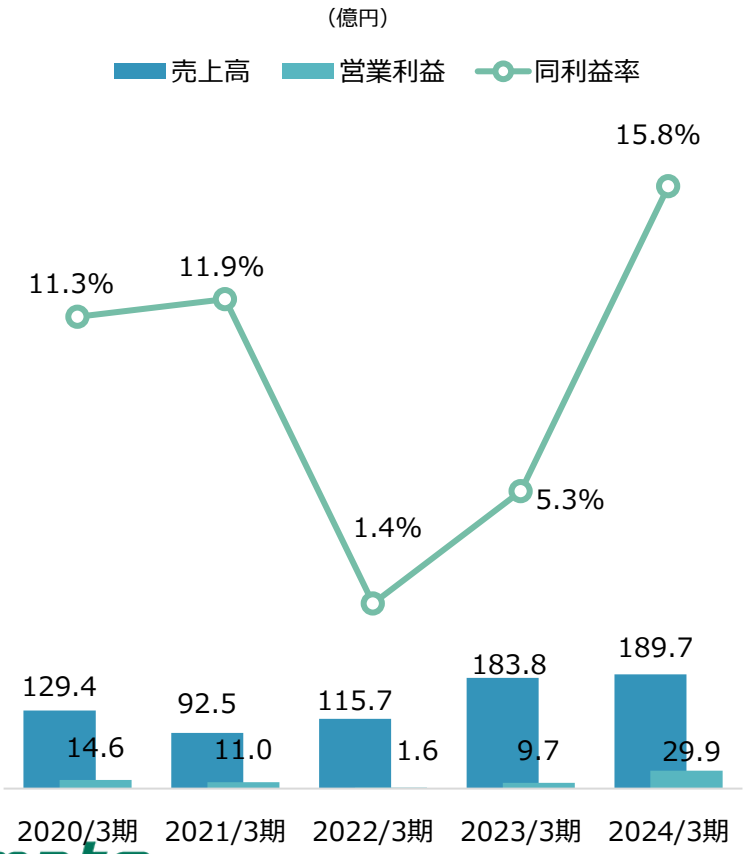
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　①鉄鋼事業（日本）

- **大型建築案件向けや土木関連の需要は堅調に推移。中小建築案件向けは低調が続く**
- **国際的な鉄スクラップ市況の軟化を受け、国内市況も下落するなか、販売価格の高値維持に努めた事で鋼材マージンが改善し、前年同期比で大幅増益**

業績推移－1Q



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 都市再開発及び半導体・物流施設などの大型建築案件の需要は底堅く推移。
  - ✓ 中小建築案件は資材価格高騰後、動きに勢いが欠ける状況が続く
- ヤマトスチールの動向
  - ✓ 販売数量は前年同期比7.6%減の14.2万トン。
  - ✓ 新規顧客の開拓や大型サイズの生産・販売強化を図るとともに、物件向けH形鋼のサイズエキストラの改定を行うなど販売価格の高値維持に努める

万トン、千円/トン	2023/3期				2024/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量	15.3	14.1	14.6	13.0	14.2			
鋼材マージン	50.3	67.5	73.0	71.4	74.1			

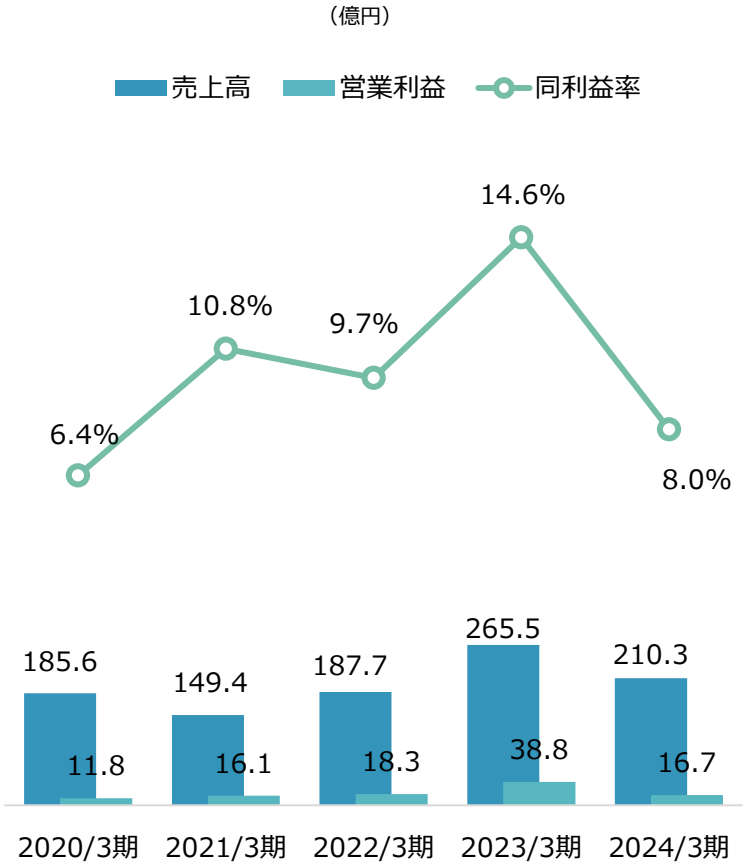
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　②鉄鋼事業（タイ国）

- **国内需要は回復の兆しが見られたものの、以前の水準には戻っておらず、輸出市場では昨年下期から続く中国メーカー等との競争が厳しさを増す**
- **鉄スクラップ価格の下落もあり高水準の鋼材マージンを維持するも、前年同期比で大幅減益**

業績推移－1Q



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ タイ経済は観光業が牽引し上向き
  - ✓ 国内需要はインフラ投資を中心に回復の兆し
  - ✓ ASEAN市場への中国・韓国製品の流入が増加
- SYSの動向
  - ✓ 販売数量は前年同期比25.6%減の17.5万トン
  - ✓ 鉄スクラップ市況の下落時も販売価格の維持に努めたことで鋼材マージンは高水準を維持

（万トン、千B/トン）	2023/3期				2024/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量（半製品含む）	23.5	21.5	17.3	17.1	17.5			
鋼材マージン	15.9	16.3	17.6	16.6	16.4			

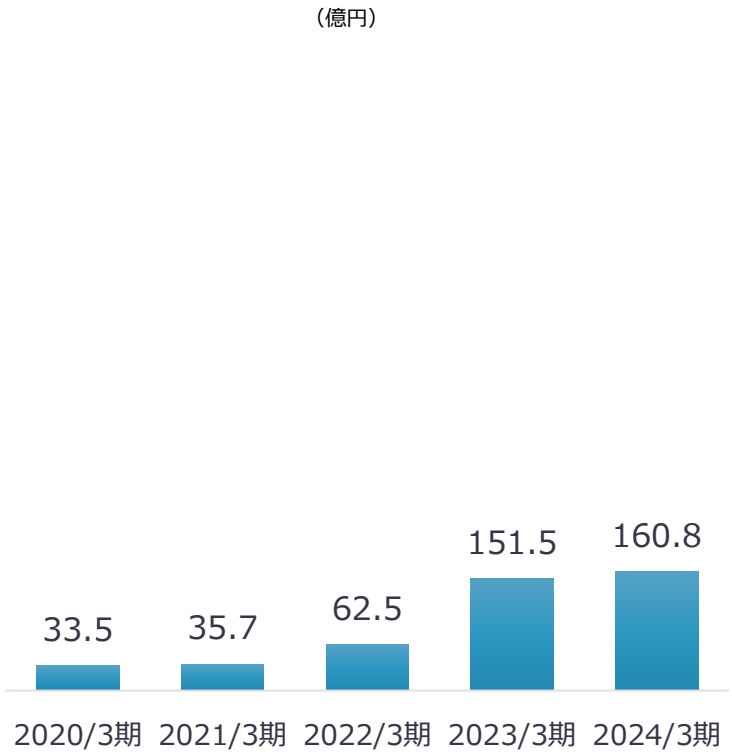
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

持分法適用会社の状況

- **持分法投資利益は前期比6.1%増の160億円**
- **地域別では、米国事業は堅調維持。中東事業はフル操業状態が続き、数量/利益面で貢献。ベトナム事業は若干の増益も、韓国事業は販売数量減により減益**

持分法投資損益の推移－1Q



損益増減要因

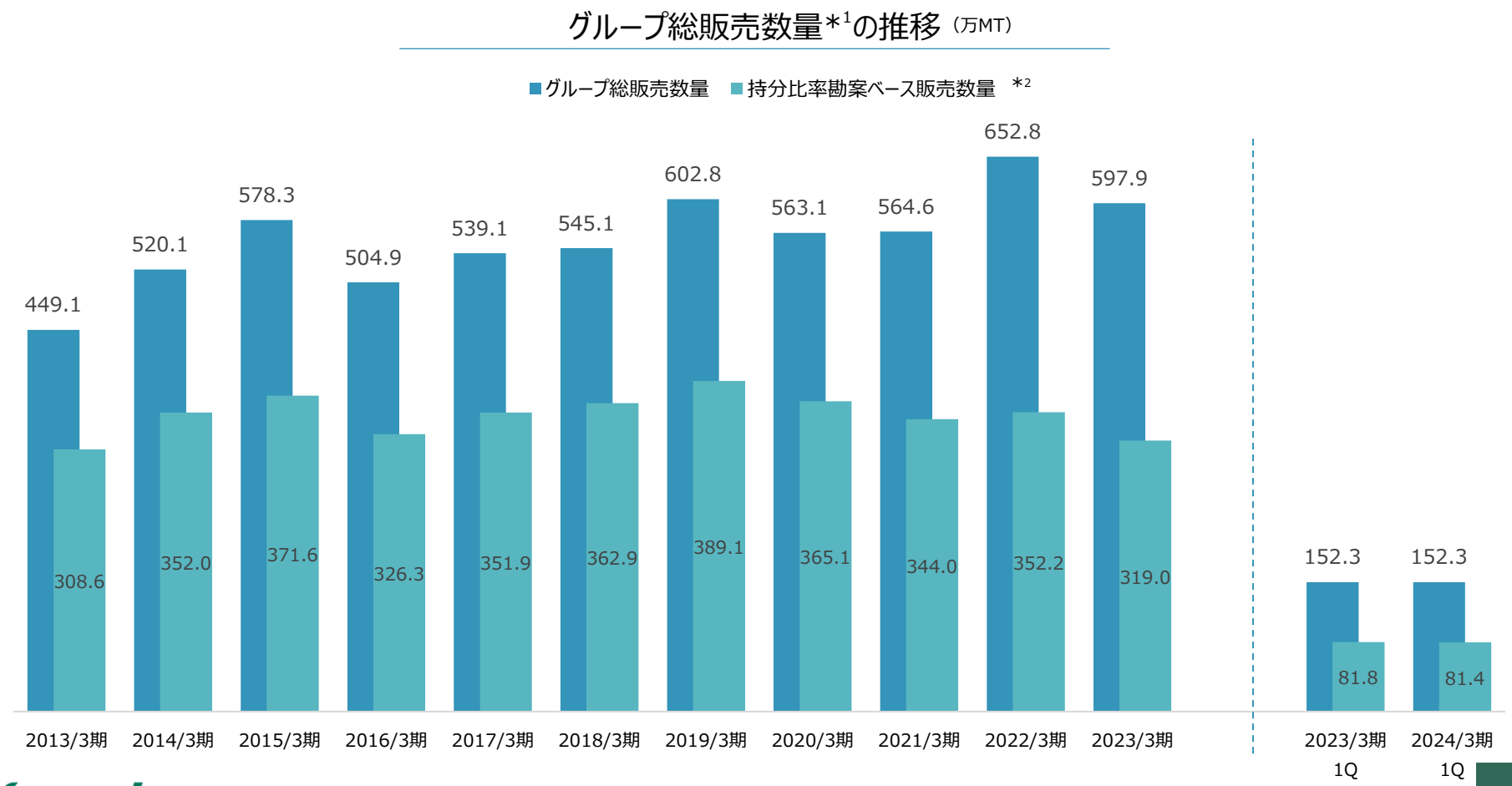
- 米国
  - ✓ 半導体・EV/バッテリー関連の建設案件向け需要は底堅く推移。流通顧客向けは低調に推移したものの需給は総じて引き締まった状態が継続
  - ✓ 堅調な需要を背景に高水準のマージンを維持し、業績は前年同期並みの高収益を確保
- 中東
  - ✓ 昨年の原油高以降、中東諸国の建設活動はインフラ投資を中心に回復基調
  - ✓ 年初は中国製品の流入の影響を受け、市況の軟化が見られたものの、トルコ地震後は需給が引き締まったことで市況は持ち直し、業績は前年同期比で増益
- アジア
  - ✓ ベトナムの鉄鋼市況は回復の兆しが見られ、形鋼需要は増加傾向も、市中在庫水準は依然と高く、業績は若干の増益
  - ✓ 韓国ではインフレと金利上昇の影響を受け、鉄筋需要が落ち込み、業績は前年同期比で減益

大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ総販売数量の推移

- **1Qグループ総販売数量は前年並みの152.3万t（タイ事業やその他拠点は減少、中東事業は増加）**

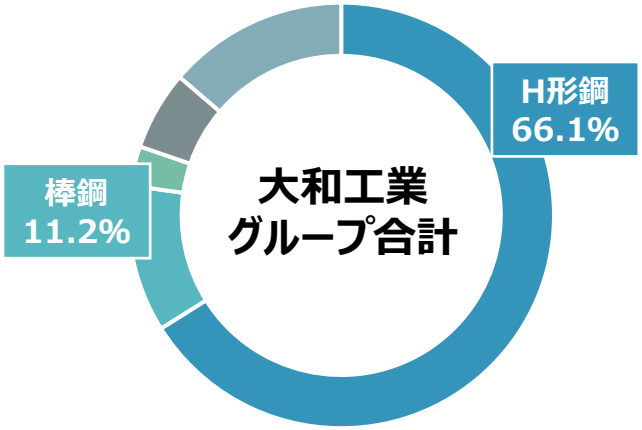


*1 半製品、DRI及びグループ間取引を含む

*2 各社の販売量に当社の持分比率を乗じたもの

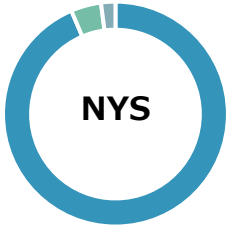
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

製品構成　第1四半期実績

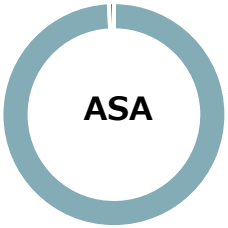


H形鋼	棒鋼	鋼矢板	山形鋼	その他
66.1%	11.2%	3.0%	6.0%	13.7%

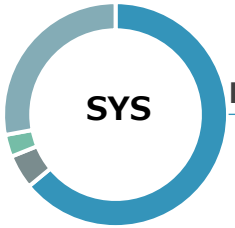
H形鋼　82.9%



H形鋼　93.2%

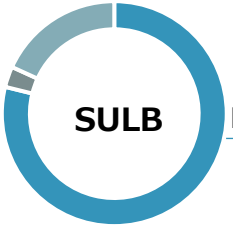


タイプレート　99.2%

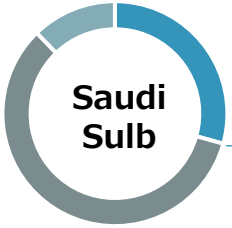


H形鋼　64.0%

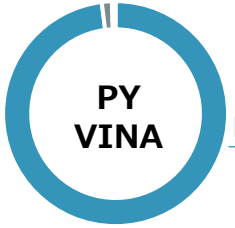
棒鋼　100%



H形鋼　78.8%



H形鋼　29.3%



H形鋼　97.9%

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

B/Sの状況

- **有利子負債ゼロ。自己資本比率85.4%**
- **堅調な業績及び円安を主因として、総資産・負債純資産は増加**

（億円）	2022/3期	2023/3期	2024/3期 1Q	前期比増減
流動資産	1,677	2,382	**2,752**	370
現預金	997	1,624	**1,999**	375
売掛債権	251	282	**305**	22
棚卸資産	398	398	**400**	1
固定資産	2,472	2,767	**2,563**	▲203
有形固定資産	597	633	**635**	1
投資その他の資産	1,858	2,115	**1,909**	▲206
投資有価証券	562	731	**776**	44
(うち関係会社株式)	(440)	(598)	**(619)**	20
長期預金	236	94	**95**	0
総資産	4,149	5,150	**5,316**	166
負債	392	447	**482**	35
買入債務	110	105	**100**	▲5
繰延税金負債	138	172	**181**	8
純資産	3,756	4,702	**4,833**	131
為替換算調整勘定	186	584	**609**	24
非支配株主持分	253	295	**293**	▲2
負債純資産合計	4,149	5,150	**5,316**	166

設備能力の戦略的増強やM&A案件への機動的対応に向けての余力を確保(うち、ドル預金約13億ドル)

投資その他の資産は下記含む
関係会社株式　619億円
関係会社出資金　744億円
関係会社長期貸付金　272億円

うち金融資産*は2,252億円と前期末比400億円増加
(為替の影響 +約20億円)

自己資本比率は85.4%
(為替換算調整勘定609億円の影響含む)

堅調な業績及び円安を主因として増加

*金融資産＝現預金+有価証券+投資有価証券（除く：関係会社株式）+長期預金

大和工業グループ

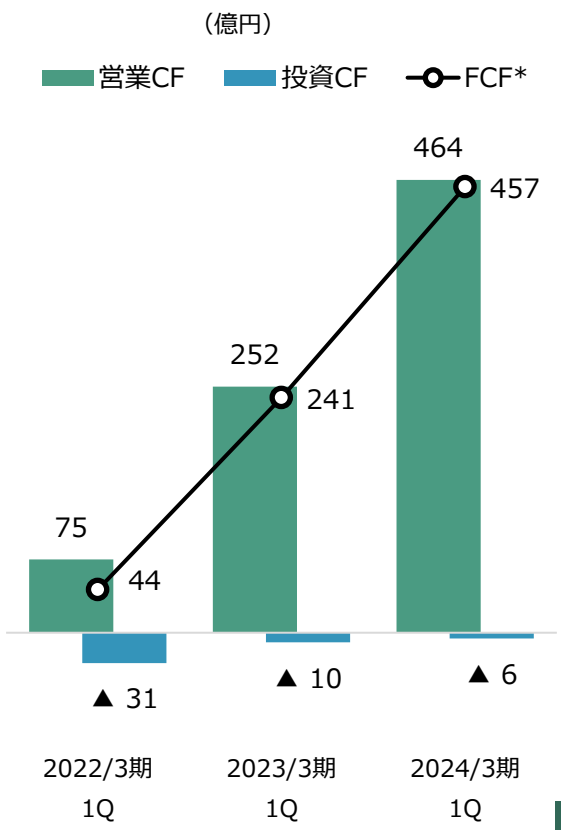
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュフローの状況

- **FCFは堅調な米国持分法関連会社からの現金分配等により、前期比215億円増の457億円**
- **投資CFは有形固定資産の取得等により▲6億円**
- **財務CFは株主還元等で▲100億円(前期比30億円の支出増)**

(億円)	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	**2024/3期 1Q**	**前期比 増減**
営業CF	75	252	**464**	212
投資CF(定期預金増減除く)	▲ 31	▲ 10	**▲ 6**	3
有形固定資産取得	▲ 9	▲ 9	**▲ 13**	▲3
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却	▲ 21	–	–	–
FCF*	44	241	**457**	215
財務CF	▲ 59	▲ 69	**▲ 100**	▲30
自社株買い	▲ 23	▲0	**▲0**	0
配当金支払	▲ 23	▲ 57	**▲ 86**	▲28

FCFの推移



* FCF=営業CF+投資CF(定期預金増減除く) で算出

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅱ 2024/3期 決算の見通し、株主還元

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期決算見通し

- **減収減益予想ながらも、利益水準は過去2番目となる予想**
- **経常利益は前回予想比20.6%増の820億円。前回予想時よりも日本と米国事業が好調に推移する見込みであることと円安効果により、業績予想を上方修正**
- **中国の動向等により、当社グループを取り巻く環境は大きく変化するため、引続き注視していく**

（億円）	2023/3期	2024/3期		前期比		前回予想比	
		直近予想 (2023/4/28)	今回予想 (2023/7/31)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	1,804	1,600	**1,540**	▲264	▲14.7%	▲60	▲3.8%
営業利益	168	95	**130**	▲38	▲22.6%	35	36.8%
経常利益	905	680	**820**	▲85	▲9.4%	140	20.6%
持分法投資損益	662	–	–	–	–	–	–
親会社株主帰属当期純利益	653	480	**580**	▲73	▲11.2%	100	20.8%
営業利益率	9.3%	5.9%	**8.4%**	▲0.9%	–	2.5%	–
経常利益率	50.2%	42.5%	**53.2%**	3.0%	–	10.7%	–

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算見通し

連結子会社

鉄鋼事業（日本）

- 形鋼需要は大型建築案件を中心に引き続き堅調に推移する見込み。土木関連も底堅い需要が期待される
- 鋼板類などが国際市況の影響も受け軟化傾向にあるなか、形鋼は需給の引き締まった状況が続いていることもあり、販売価格は当初想定より高値で推移する見込み
- 鉄スクラップ価格やエネルギー価格は高値であるものの当初想定は下回る見込み
- 業績は前回予想比で増収増益(前期比では増益)を予想

鉄鋼事業（タイ国）

- タイ経済は回復の兆しを見せる一方、長期化する政治混乱の影響からインフラ投資の遅れが懸念され、流通顧客の在庫の積み増しに慎重な姿勢が続く
- 輸出市場では中国メーカー等との競争が激しさを増しており、輸出・国内共に販売数量は減少の見込み
- 鋼材マージンは販売価格より鉄スクラップ価格の下落幅の方が大きく、高水準を維持する見込み
- 業績は前回予想比で減収も利益面は前回予想並み(前期比では減益)を予想

持分法適用会社

米国

- インフレによる先行き不安はあるものの、米国経済は底堅く、半導体、電気自動車及び再生可能エネルギー関連などの建設需要は堅調に推移し、需給は引き締まった状態が続く
- 形鋼市況は前年ほどではないものの、比較的高値圏で推移する見込み
- 業績は前回予想比で増益(前期比では減益)を予想

中東

- 中東諸国は昨年来の原油高を背景に財政状態が改善しており、インフラ投資など建設需要が回復基調。
- 先行き不透明感はあるものの形鋼市況は当初想定ほど落ち込まず、フル生産状態も続く見込み
- 業績は前回予想比で若干の増益(前期比では減益)を予想

ベトナム

- 不動産市場の回復の遅れが波及し、形鋼需要の回復ペースも鈍化。形鋼市況は中国の市況低迷を受けるものの、鉄スクラップ価格も下落しており、鋼材マージンは維持される見込み
- 業績は前回予想並み(前期比では増益)を予想

韓国

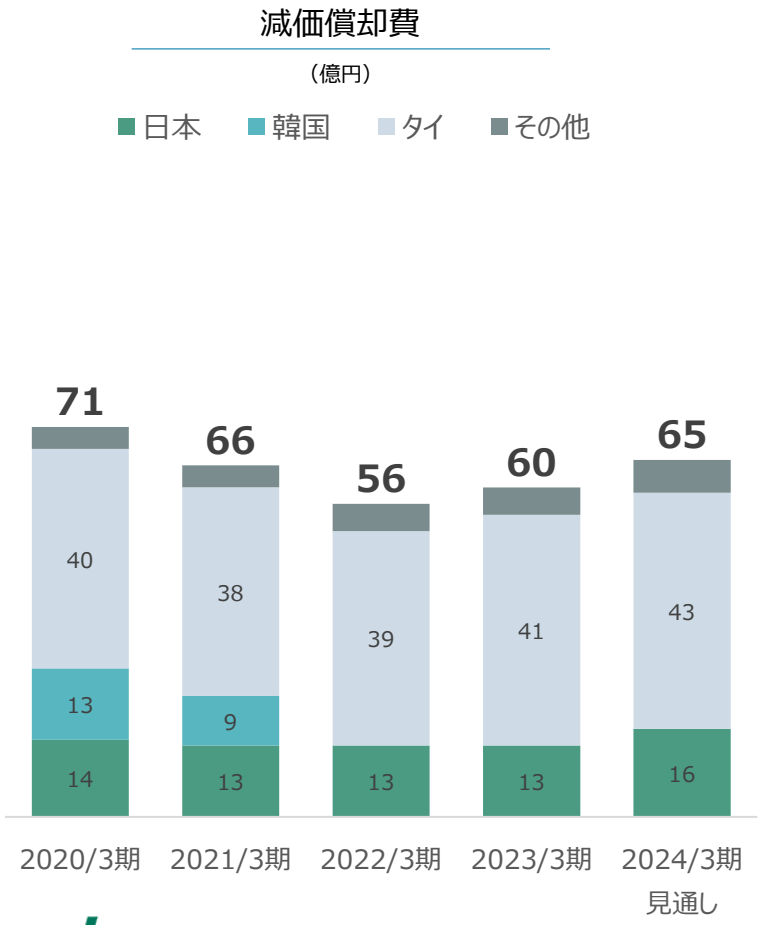
- 金融引き締めの影響による不動産市場の低迷が続いており、鉄筋需要が悪化し、販売数量減及び販売単価下落
- 業績は前回予想比で減益(前期比では減益)の予想

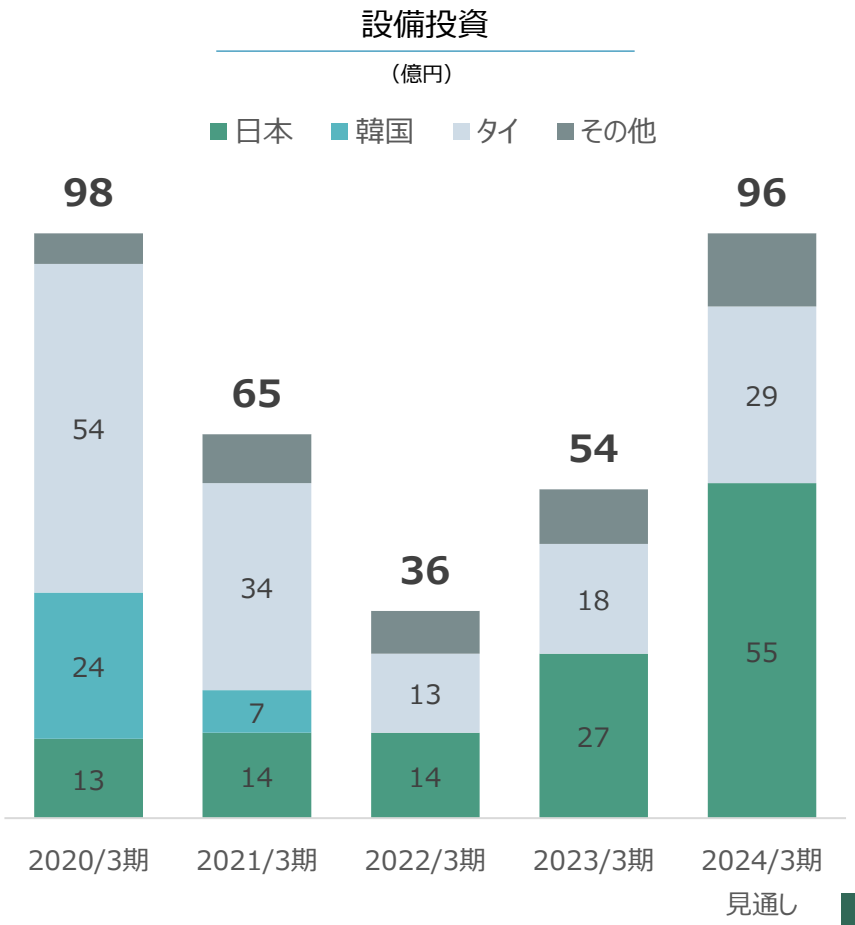
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

減価償却費及び設備投資の推移(連結子会社)

- **設備投資は前期比で増加見込み**
- **ヤマトスチールでは圧延ライン更新等の戦略的投資が進捗(うち、矯正機の更新工事は2024年6月頃完成予定)**
- **タイ/SYSは老朽化設備の更新や省人化に向けた設備導入が中心**

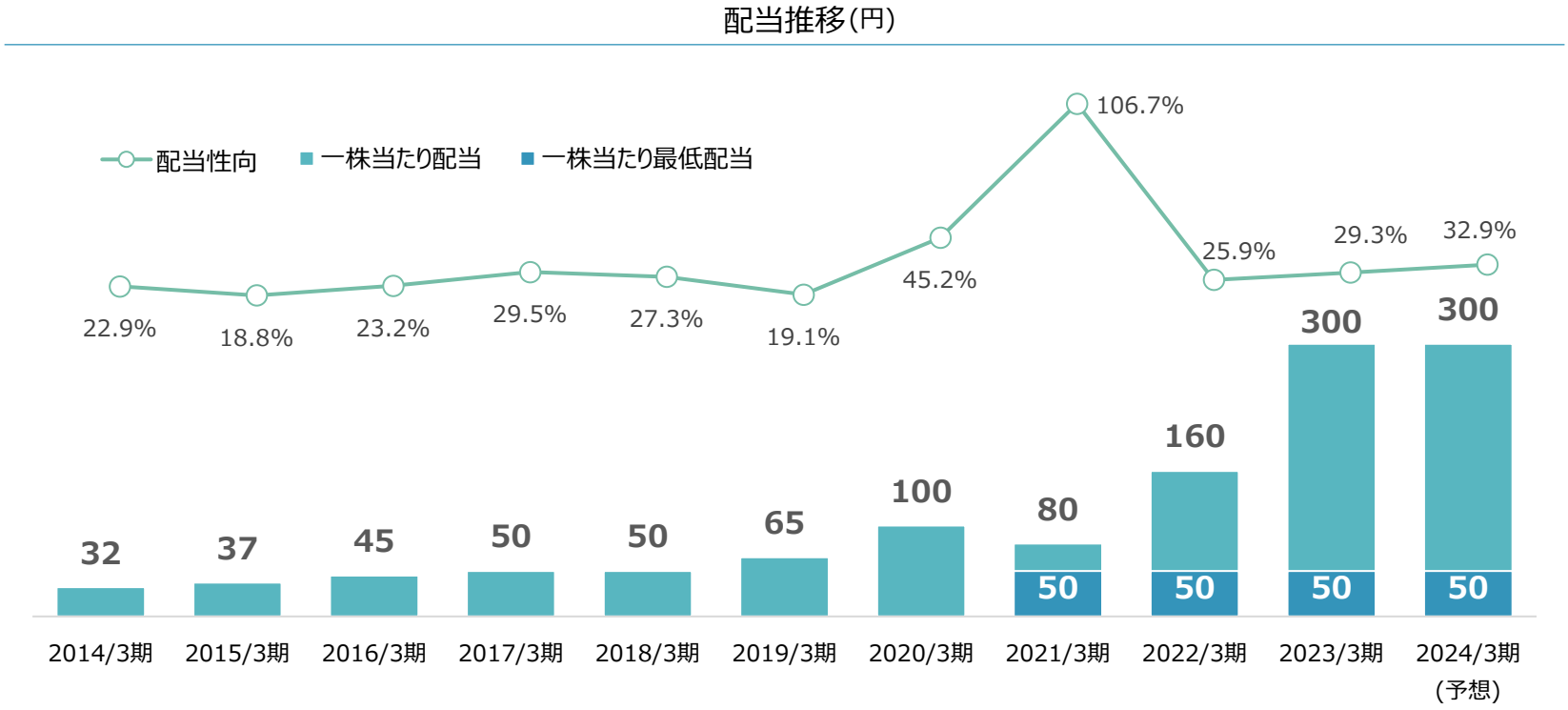




Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元

- 業績に応じた利益配分を行う事を基本方針とし、連結配当性向40%を目処に毎期の配当額を決定するとともに、継続的かつ安定的な配当の維持に努める(1株あたり最低配当額を年間50円と設定)
- 2024/3期は1株あたり普通配当300円(中間150円/期末150円)を予定
- 自社株買いについては、中長期的に株主価値を高める観点から、機動的に実施を検討



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅲ インドネシア案件概要(2023年8月8日開示)

大和工業グループ

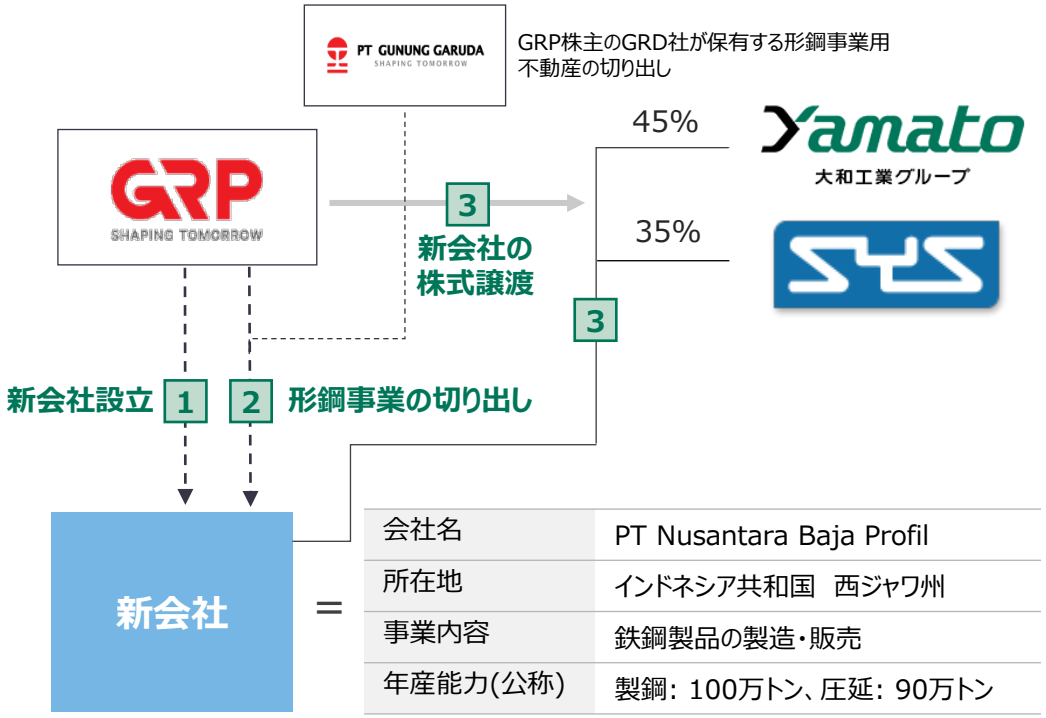
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

インドネシア案件概要(2023年8月8日開示)

- タイのSYS・ベトナムのPY VINAに続くASEAN域内第３の拠点として、域内最大の人口を誇るインドネシアでの拠点獲得を決定。「ASEAN形鋼300万トン供給体制」の構築に向け大きく前進
- PT Gunung Raja Paksi Tbk(以下GRP)社が営む形鋼事業並びにPT Gunung Garuda（以下GRD）社が保有する事業用不動産を現物出資により承継する新会社（PT Nusantara Baja Profil）株式の80%を当社・SYSにて取得
- 当社グループがマジョリティ株主として自律的・持続的な成長を目指すものであり、より積極的な事業戦略推進に踏み出す投資
- 株式譲渡実行日：2025年3月期第1四半期予定(2025年3月期の連結業績に与える影響は明らかになった時点で開示予定)

概要

- ✓ GRPは、インドネシアで50年以上の操業経験を持ち、同国形鋼市場で最大シェアを有する大手民営鉄鋼メーカー
- ✓ GRPの形鋼事業を分社化し、当社グループへ譲渡



会社名	PT Nusantara Baja Profil
所在地	インドネシア共和国　西ジャワ州
事業内容	鉄鋼製品の製造・販売
年産能力(公称)	製鋼：100万トン、圧延：90万トン

M&Aシナジーについて

- ✓ 当社グループが長年培った電炉操業技術や、SYSがASEAN地域で蓄積したマーケティング等のノウハウを持ち込み、戦略的な追加設備投資を実行することで、今後大きく伸長するインドネシア形鋼市場の需要捕捉を目指す
- ✓ 設立から30年超が経過したSYSをASEAN地域のマザー工場として位置づけ、SYSを軸にASEAN3拠点間のシナジー最大化を図る
- ✓ インドネシアで幅広く鉄鋼事業を展開する阪和興業も同社現地子会社を通じ15%参画。同社との協働により本事業の持続的な成長を目指す
- ✓ GRPも5%株主として継続関与。同社との連携も図る

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

鉄で未来を 未来の鉄を

Yamato

東証プライム【証券コード5444】